

平成29年第1回
教育委員会定例会議案

多賀城市教育委員会

平成29年第1回教育委員会定例会議事日程

平成29年1月25日（水）

午後4時 開会

多賀城市役所5階 501会議室

日程第1 前回議事録の承認について

日程第2 議事録署名委員の指名について

日程第3 諸般の報告

事務事業等の報告

日程第4 議 事

臨時代理事務
報告第1号 平成28年度多賀城市教育功績者等表彰（追加）
について

議案第1号 平成29年度多賀城市教育基本方針及び教育重点
目標について

日程第5 その他

諸 般 の 報 告

平成28年第12回教育委員会定例会以降の事務事業の執行状況及び諸会議等の状況は、次のとおりです。

■教育総務課関係

12月28日、12月31日付けで依願退職となる職員1名に辞令を交付しました。

1月4日、1月1日付けの人事異動及び定期昇給者に係る辞令を交付しました。教育委員会の職員は、55名中51名が定期昇給しております。

■学校教育課関係

市立小中学校は、昨年12月22日の終業式で冬休みに入り、18日間の休みを終え、1月10日の始業式から3学期に入っております。

12月26日、27日、28日の3日間、今年度で5回目となる「多賀城スコールのウィンタースクール」が市民活動サポートセンター及び高崎中学校で開催され、小学生のべ201名、中学生のべ57名が参加しました。

小・中学校のインフルエンザについては、1月20日に多賀城小学校5学年の1クラスで学級閉鎖の報告がありました。その他、各学校からも少人数ながら罹患患者発生が入っておりますので、引き続きうがいや手洗いの励行指導の徹底等、感染の未然防止に努めてまいります。

■生涯学習課関係

12月23日、24日、25日の3日間、「リサイクル古本市」が市立図書館で開催され、図書館で役目を終えた図書1,445冊が無償で提供されました。

12月25日、「陸上自衛隊東北方面音楽隊コンサート」が市民会館大ホールで開催され、行進曲をはじめ、民謡にアレンジを加えた楽曲などを約1,001名が鑑賞しました。

1月1日、テーマ別に司書が選んだ本を袋詰めして貸し出す「図書館福袋」が市立図書館で開催され、66袋146冊が貸し出されました。

1月8日、「平成29年成人式」が文化センターで開催されました。対象者は平成8年4月2日から平成9年4月1日生まれの692名（男393名・女299名）で、市外に居住している新成人を含む452名が出席しました。式典は、準備段階から市内中学校卒業生9名で組織する実行委員会が企画運営し、中学校当時を振り返る映像や恩師のスピーチ、新成人代表の意見発表が行われました。

1月7日、「10,000人寒げいこ」が総合体育館で開催され、14団体、262名が参加しました。

1月10日、「多賀城市青少年健全育成市民会議理事会」が開催され、平成28年度青少年善行表彰者の選考や少年の主張全国大会の報告などを行いました。

■文化財課関係

1月5日、資料展「天童氏のいしずえ」が埋蔵文化財調査センター企画展示室で開催され、会期は平成29年3月5日までとなっております。

1月19日、日本遺産に係る第4回「伊達な文化」魅力発信推進事業実行委員会が県庁本町分庁舎において開催され、文化財課長等が出席いたしました。平成28年度事業の進捗状況報告、及び平成29年度事業の申請等について審議が行われました。

1月23日、多賀城南門等復元実施設計の構造補強に係る意見聴取のため、文化財課長等が工学院大学（東京都）に出張いたしました。

(別表) 社会教育事業等の開催状況

開催日	内 容	参加者数	会場
12月23日	子ども書道教室 講師：高橋秀秋氏（大代地区公民館スタッフ）	5名	大公
12月23日、 1月5・13・18日	集いの広場 （体育室、視聴覚室を開放して学習や異世代交流の場を提供）	22名	大公
12月24日	クリスマスコンサート 出演：ほなみ合唱団・第二中学校吹奏楽部、多賀城吹奏楽団	250名	山公
12月25日	子ども映画会 上映作品：3匹の子ぶた、おやゆび姫、あらいぐまラスカル、キキとララの白鳥座のお姫さま	63名	中公
12月27日	冬休み書道教室（小学生が書き初めを学ぶ） 講師：高橋秀秋氏（大代地区公民館スタッフ）	16名	山公
1月6日	子ども広場（冬休み期間に運動やゲームの場を提供） 講師：大代地区公民館スタッフ	14名	大公
1月8日、20日	図書館活用講座「図書館ツアー」（館内を隅々まで検索し、図書館の魅力を再発見）	9名	市図
1月7日、14日	東北お遍路プロジェクト観光ガイドライター体験（全4回第3・4回目） 講師：フリーライター池田直美氏ほか	10名	市図
1月15日	日本のお正月昔遊び（けん玉、お手玉、メンコなど）講師：市立図書館スタッフ	55名	市図

1月15日	おとなの朝活（ノルディックウォーキング） 講師：市民スポーツクラブスタッフ	20名	総体
1月18日	高齢者教育事業「山茶花大学」（後期3回目） 新春の集い 協力：多賀城市芸術文化協会	41名	大公

【凡例】

中公：中央公民館 山公：山王地区公民館 大公：大代地区公民館
市図：市立図書館 総体：総合体育館 プール：市民プール

平成29年1月25日提出

多賀城市教育委員会
教育長 小畑 幸彦

臨時代理事務報告第1号

平成28年度多賀城市教育功績者等表彰（追加）について
このことについて、平成29年1月17日臨時代理により次のとおり
決定したので報告する。

平成29年1月25日提出

多賀城市教育委員会

教育長 小畑 幸彦

議案第 1 号

平成 2 9 年度多賀城市教育基本方針及び教育重点目標
について

このことについて、別紙のとおり定める。

平成 2 9 年 1 月 2 5 日提出

多賀城市教育委員会
教育長 小畑 幸彦

多賀城市教育基本方針

教育基本法の精神に基づき、

ひろい心、健やかな体、豊かな人間性と創造力を備えた児童生徒の育成を目指し、幅広い知識と教養を身に付け、真理と正義を求める心を持ち、自主・自律と公共の精神に満ちた人格の形成を図る。

あわせて、市民が「未来を育むまち史都多賀城」の歴史・文化を継承し豊かな心を育むまちの実現のために活動できる環境整備に努める。

平成29年度教育重点目標

1 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

子どもたちが生き生きと安全に暮らしていくためには、学校・地域・家庭が手を取り合い、協力しながらともに良い教育環境を作っていくことが必要である。学校支援地域本部事業や放課後子ども教室推進事業により協働教育の取組が進行し、平成27年度までに市内すべての小中学校で事業が実施されている。この取組の充実・発展を図る。

このため、次の施策を行う。

(1) 学校・地域が連携した子どもたちの育成

- 学校支援地域本部事業の推進
- 地域教育協議会の開催
- 地域コーディネーター、学校支援ボランティアの育成
- 広報啓発活動
- 防災キャンプの実施

(2) 放課後等の安全・安心な居場所づくり

- 放課後子ども教室の開設
- スタッフの育成・支援

(3) 家庭教育力の向上

- 基本的生活習慣の実践
- 家庭教育事業の実施

(4) 青少年の健全育成

- ジュニアリーダーとインリーダーの育成・支援
- 巡回指導の実施

2 学校教育の充実

ひろい心、健やかな体、豊かな人間性と創造力を備えた児童生徒の育成を目指し、基礎的・基本的な幅広い知識と教養を身に付け、社会の変化に主体的に対応できる能力及び思考力・判断力・表現力などの「確かな学力」の定着と個性を伸ばす教育の充実を図る。

また、国際的視野をもち、生涯にわたり自ら学ぶ意欲と態度、郷土愛と豊かな人間関係を培う教育の推進を図るとともに、教職員の英知と創意を生かし、地域社会に開かれた特色ある学校づくりと子どもたちの「生きる力」をはぐくむ学校教育の実現に努め、「多賀城を知り多賀城を語れる児童生徒」の育成に努める。

なお、東日本大震災は、児童生徒及び教職員の心身、地域・家庭を取り巻く環境や教育活動に、今もなお大きな影響を与えていることから、児童生徒等の心のケアを充実させるとともに、円滑な学校運営の支援に努める。

このため、次の施策を行う。

- (1) 郷土愛を育む教育の推進（地域に開かれた、特色ある多賀城らしい教育の施策）
 - 多賀城を知り多賀城を語れる児童生徒の育成
 - 多賀城らしい理科教育の推進
 - 多賀城らしい国際理解教育の充実
 - 保護者、地域の信頼に応える学校づくり
- (2) 教育の質の向上（「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ教育の施策）
 - 教職員の授業力の向上
 - 個に応じた学習指導の推進
 - 体験活動の充実
 - 家庭学習の啓発支援
 - 自己肯定感や自尊心を高める道徳教育の推進
 - 「語りかけて励まし、認めて育てる」、心のかよいあう生徒指導の推進
 - 一人ひとりが生き生きと活躍できる、いじめのない集団づくりの推進
 - とともに学び、ともに育つ特別支援教育の推進
- (3) 健康づくりと食育（「健やかな体」を育てる健康教育の施策）
 - 児童生徒等の健康診断の実施、学校保健会活動の支援
 - 健康的な生活習慣の形成
 - 学校給食に係るハード、ソフト両面の安全確保
 - 給食センターと学校が連携した食育の推進
- (4) 教育相談体制の充実
 - 震災による心への影響の実態把握と適切なケアの推進
 - スクールソーシャルワーカーを中心とした相談体制の充実
 - 不登校、いじめ対策としての心のケアハウスの運営
 - 保護者、地域の信頼に応える学校づくり
- (5) 安心・安全な教育環境の整備
 - 学校施設の計画的な整備
 - 安全で安心して学ぶことのできる教育施設の整備
 - 防犯・防災教育、安全教育の推進

(6) 新たな時代に対応するための取組推進

- 各種支援員等の適切な配置
- 児童生徒の学校満足度心理検査（Hyper-Qu）の実施

3 生涯学習の推進

急速な技術革新の進展や膨大な情報により社会環境が変化する中において、賢く、楽しく、生きがいを持って生きていくためには、一生を通じて学び続ける必要があり、学ぶことによって「生活の質」を高めることができる。そこに生涯学習の意義がある。

生涯学習の拠点となる公民館や図書館、体育館などの社会教育施設については、市民が学びを通じて交流する場として相応しい施設整備を図り、多様な学習メニューを用意するほか、利用者が自らの課題を解決する学びを支援する。

特に、文化交流拠点のうち、知の拠点を担う市立図書館にあつては指定管理者制度による運営を安定的に行い、また、芸術文化の拠点を担う文化センターにあつては同制度による第2期として深化を目指すなど、民間のノウハウを活かし、更なる「学び」や「芸術文化」の充実を図る。

このため、次の施策を行う。

(1) 学習機会の充実

- 市民のライフステージに対応した生涯学習・社会教育事業の実施
- 今日的な社会課題や生活課題に対応した生涯学習・社会教育事業の実施
- 全国高等学校総合文化祭（日本音楽部門・吹奏楽部門）の運営

(2) 市民創造型生涯学習の推進

- 自主的・自律的な市民団体・サークルの育成支援
- 市民団体等による事業の支援

(3) 芸術文化の振興

- 市民の教養と豊かな情操を培うための芸術鑑賞機会の提供
- 市民自らが取り組む芸術文化活動の支援

(4) 生涯学習施設の運営

- 施設・設備の充実
- 利用者サービスの充実とマナーの向上
- 大代地区コミュニティ推進協議会事業計画に基づいた事業

(5) 文化交流拠点中核施設の運営

- 東北随一の文化交流拠点施設としての市立図書館の運営
- 施設設備の充実と学習・交流機会の提供

4 スポーツの振興

市民の健全な心身と健康の保持・増進を図るためスポーツ活動を推進し、多種目・多世代・多目的でつくる市民スポーツ社会を実現する。

スポーツ事業を実施し、人と人との交流や地域間の交流を促進し、活気あふれる元気なまちづくりを目指す。

このため、次の施策を行う。

(1) スポーツ機会の充実

- 総合型地域スポーツクラブの理念に基づくスポーツレクリエーション活動の振興
- 市民が参画し主体となるスポーツ推進体制の充実
- 教室講座、事業の充実
- 見るスポーツ、サポート活動の振興
- 全国高等学校総合体育大会（女子バレーボール競技）の運営

(2) 社会体育施設等の施設環境の充実

- 施設・設備の充実
- 地域に根ざしたきめ細かなスポーツサービスの充実
- スポーツ団体の支援

5 文化財の保存と活用

文化財を適正に保存・活用することは、市民の歴史文化に対する意識の向上に繋がり、ひいては本市の個性豊かな魅力あるまちづくりに大きく寄与するものである。

よって、東日本大震災からの復興に向けて、歴史、文化を活かしたまちづくりを推進するため、郷土の貴重な遺産である文化財を保護・継承し、関係部署等との連携のもと、その活用を図る。また、震災復興のシンボルともなる特別史跡多賀城跡復元整備事業への取組みを進める。

このため、次の施策を行う。

(1) 特別史跡の公有化及び史跡地内の景観保全

- 特別史跡多賀城跡附寺跡第3次保存管理計画に基づく公有化の促進
- 地域等との連携による史跡地内の景観保全

(2) 特別史跡多賀城跡復元整備事業の推進

- 多賀城南門等復元整備検討委員会議の開催
- ガイダンス施設建設に係る地盤調査の実施

(3) 文化財保護意識の普及啓発

- 埋蔵文化財調査センター設立30周年を記念した展示会等の開催
- 市民と一体となった文化財保護意識の普及啓発

(4) 文化財調査の実施と保存活用の推進

- 埋蔵文化財の調査、保存、活用
- 名勝おくのほそ道の風景地「壺碑（つぼの石ぶみ）・興井・末の松山」の保存、活用
- 歴史遺産（石碑・民俗資料・古文書等）の調査、保全

(5) 埋蔵文化財調査センター体験館（多賀城史遊館）の管理運営

- 収蔵資料を活用した体験学習の充実と展示公開